

## 基礎マクロ：試験の注意事項

連絡先：[masashi.hino@r.hit-u.ac.jp](mailto:masashi.hino@r.hit-u.ac.jp)

### ・試験問題投稿場所：[manaba](#)

- ・[Manaba](#) を用いて行います。

### ・試験日程および時間：[1月5日（水）2限 10:45-11:35\(厳守\)](#)までの **50** 分間の[予定](#)

### ・試験について：選択式試験，全 **45** 問程度を予定

### ・試験の傾向について

- ・4択や5択問題です。「すべて選べ」や「誤っているものを選べ」という問題が多いので気を付けてください。
- ・特に「すべて選べ」が多いので，運任せでは正当しにくいようになっています。
- ・スライドの内容そのままの選択問題がほとんどです。
- ・問題数/時間が多いので，効率的に解くことが重要です(相談防止策の一つ)。
- ・問題が解き終わっていなくても，締め切り時間までには提出すること！（[アラーム等を使う](#)）

### ・試験範囲：

- ・数学的なパート（最初の数学補習とラグランジュ）を[除く](#)すべて。
- ・スライドの内容（8-9割）および練習問題(1-2割)

### ・持ち込みの可否：文書の資料はどんなものでも持ち込み可能

例：スライド，練習問題，解答，皆さんが自作したまとめノート等

アドバイス：「選択式試験の持ち込みだから楽勝」と思っているとあまり良くないと思います。まとめノート等を作って自分なりにスライドの要点を整理しておくとお効果的だと思います。

・ 友人等との相談：不可

・ このルールが形骸化しないよう、対策(対策方法の詳細は非公開)をしています。そのため、相談することを前提とした受験は諦めてください。また、感染症の観点からも、皆さん自身の健康のために試験のために人と集まるのは控えてください。

・ 試験後の教員への成績の懇願

・ やっても意味がありません。公平性の観点から、成績を操作することはありません

・ 不正行為が判明した場合、私の情状酌量の余地はなく、大学内の然るべき部署に通知します。オンライン試験で不正行為が疑わしい結果が見つかった場合も、同様に大学内の然るべき部署に相談します。

成績基準の目安：※大学全体のガイドラインに従っています。

A+, A, B, C, F= 10%, 23%, 32-35%, 25%, 10%(以下)

$A+ + A / \text{all} < 33\%$

$A+ / (A++ + A) < 33\%$

このため、素点自体にあまり意味がありません（素点が悪くても多くの場合単位は取れるのではないかと思います）。

## 試験に関する細かい注意点

- ・ 試験アップロードのラグについて：試験問題は manaba に 10:45 に予定投稿を設定します。もしかしたら、投稿にラグが生じる可能性が理論上あると思います。このタイム・ラグは全員共通のはずなので、試験上の不公平は生じないはずです。落ち着いて待機してください。
- ・ トラブルについて：試験問題が開けない・停電・インターネットの切断等のトラブルがある場合、速やかに私にメールで連絡してください。中でも試験問題が開けないことのような試験開始のトラブルに関する問合せは試験開始 20 分以内が一つの目安です。（何かあった際にすぐに連絡できるように、試験開始前に私のアドレス ([masashi.hino@r.hit-u.ac.jp](mailto:masashi.hino@r.hit-u.ac.jp))を確認しておいてください。<sup>1)</sup>
- ・ 提出時のラグについて：提出時も同様に、ラグのせいで 11:35 ちょうどに提出すると 11:35 に提出できない可能性が考えられます。各自、少しの余裕をもって提出できるように注意してください(例えばタイマー等を利用してください)。万が一、ラグのせいで時間を超過した場合は、試験終了後速やかに私のアドレスに連絡してください。ただし、明らかに時間を超過している場合は、公平性の観点より提出を受け取れません。注意してください。

## 周知事項：

- ・ manaba にある授業アンケート(「授業と学習に関するアンケート」)への回答をお願いします。

## 不正行為の補足：

通常の教場試験における一橋の公式のアナウンスは以下のとおりです。罰則のみが主に該当します。

---

<sup>1</sup> 問合せが大量にきた場合、返答に時間を要する場合があります。落ち着いて待機してください。また、試験時間終了後も私の返答がない場合、送信済みのメールをスレッドにして、再度メールをしてもらえると助かります。

## ◆不正行為防止について

教場試験における不正行為防止のため、学生に対して下記の告示をしております。

### 告 示

- 1 試験場では、机の上に学生証を置いておくこと。持込みを許可されたもの以外は、鞆の中に入れてしまうこと。
- 2 試験場では、携帯電話等の通信機器の使用を一切禁止する。必ず電源を切り、カバンの中に入れてしまうこと。携帯電話等が目に見えるところにあった場合は、答案を没収し無効とした上で即時退場を命じる。また、携帯電話等を手にした者はその場で不正行為として取扱う。
- 3 不正行為を行った者は、学則によって懲戒処分に付される。  
懲戒処分により停学となった場合、停学期間は在学期間に算入しないため、卒業が最低 1 年間延長される。また、当該学期の履修登録が全て無効となる。奨学金を受給している者については給付が廃止され、場合によっては全額返済の義務を負うことになる。
- 4 レポートにおいては、文章やデータの盗用（引用の範囲を明示せず、かつ引用元を明記せずに引用すること。データの改ざん・ねつ造も含む。）、レポートの流用（他人の書いたレポートを提出すること、他人にレポートを写させること。）または文章の代筆（他人の代わりに書くこと。）をしてはならない。

試験が厳正に行われるよう、学生諸君の自重を望む。

一 橋 大 学